

完全通信型のナビゲーションアプリが 日産自動車 新型「日産リーフ」のディスプレイオーディオに採用 ～ゼンリン初の開発・提供事例～

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:竹川道郎、以下ゼンリン)が開発したナビゲーションアプリが、日産自動車株式会社(以下日産自動車)の電気自動車「リーフ」(B5グレード)のディスプレイオーディオ「NissanConnect インフォテインメントシステム [シンプル]」に採用されました。*1

*1:ご利用には日産自動車のNissanConnect サービスへのご加入が必須となります。

【参考:日産自動車発表 ニュースリリース: <https://global.nissannews.com/ja-JP/releases/260129-00-j>】



ナビゲーションアプリの画面イメージ

■ナビゲーションアプリ提供の背景と特徴

近年、車載ディスプレイとスマートフォン等を連携して利用する「ディスプレイオーディオ」の普及が進み、従来の専用カーナビに加え、多様なナビゲーションの形が選択できるようになっています。一方で、日本特有の複雑な道路環境においては、より詳細かつ信頼性の高い地図情報と丁寧なルート案内が求められています。そこでゼンリンは、ディスプレイオーディオに最適化した、必要な地図データや最新情報をクラウドで都度取得する“完全通信型”のナビゲーションアプリを開発しました。

今回、本ナビゲーションアプリを、日産自動車の新型「日産リーフ」(B5グレード)のコネクテッドカー・サービス「NissanConnect」向けに初めて提供しました。スマートフォンを介さず、ディスプレイオーディオ上でゼンリンのナビゲーションサービスを直接ご利用いただけます。

本アプリでも、ゼンリンが整備する全国の詳細な道路情報に加え、建物の到着地点情報や交差点情報、道路ペイント、方面案内看板データなど、ゼンリンならではの豊富な地図情報コンテンツを活用しています。さらに

自動データ更新機能により高精度・高鮮度なナビゲーションを実現し、利用者の安全で快適な移動を支援します。採用にあたってはゼンリンの豊富な地図データと、多様なニーズに柔軟に対応できるカスタマイズ性が高く評価されました。



ゼンリン独自の車両調査等で取得した交差点・看板情報をもとに、分かりやすく丁寧な案内を実現

【主な詳細データの提供数値】(2026年2月末時点)

- ・市街地図データ(1,741 エリア)
- ・住所検索データ(約 4,040 万件)
- ・電話番号検索データ(職業別電話番号 約 480 万件)

【ナビゲーションアプリ 概要】

・アプリケーション名

ナビゲーション by ZENRIN

・搭載車種(順次拡大予定)

日産自動車 新型「日産リーフ」(B5 グレード)

・利用料金

ご利用には日産自動車の NissanConnect サービスへのご加入が必須となります。

詳しくは「NissanConnect サービス」公式ホームページをご確認ください。

(<https://www3.nissan.co.jp/connect.html>)

■今後の展望

今後もゼンリンは、高度なモビリティ社会の実現を軸に、スマートシティ分野における防災、交通、都市計画などの社会課題解決に貢献するトータルソリューションの開発に取り組みます。高精度地図データによるデジタルツイン基盤の提供など、持続可能な社会のインフラ構築を支援していきます。